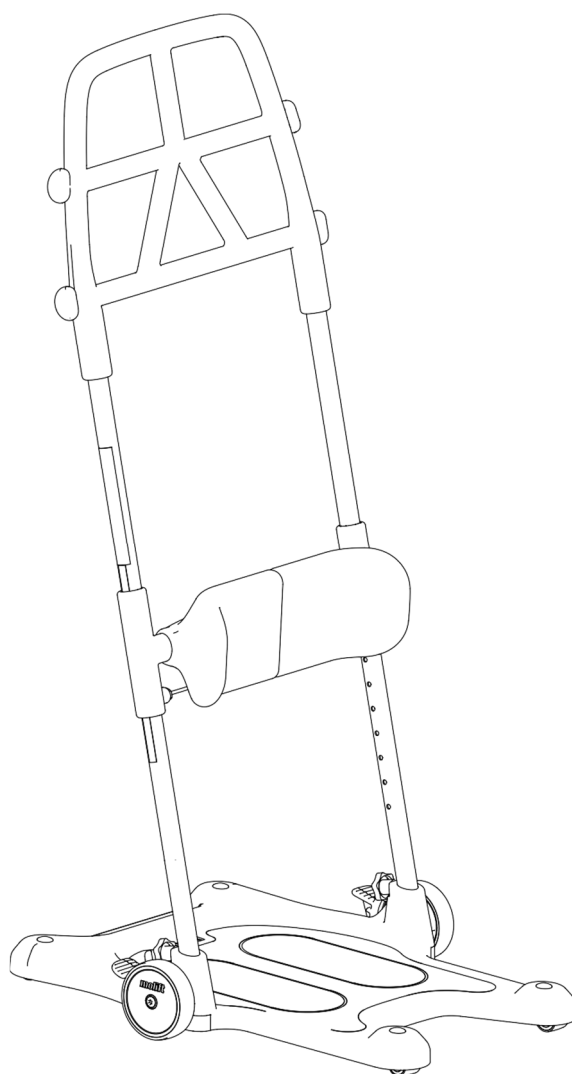


ライザー ベース (Rizer BASE)

取扱説明書



ラックヘルスケア株式会社

コード No. 2025.11

目次

1. 安全にご使用いただくために	1
2. 各部名称	2
3. 製品仕様	3
4. 組立方法（調整方法）	4
5. 使用方法（専用ベルトを使用しない場合）	7
6. 使用方法（専用ベルトを使用する場合）	8
7. オプションパーツ	10
8. サービスとメンテナンス	11
9. 試験と保証について	11

1. 安全にご使用いただくために

この度は「ライザーベース（Rizer Base）」をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
本製品のご使用前には必ず『取扱説明書』をよくお読み頂き、正しく安全に使用してください。
＊説明書内では被介助者(利用者)を『ユーザー』と表記しております。

ご使用の前に

「ライザーベース」は介助者の負担を軽減し、ユーザーの快適な移乗をサポートする立ち上がり移動補助器具です。屋内の平坦面上における座位から座位への短距離の移乗時に使用することができ、車いすから椅子への移乗や、車いす上での後方への位置修正等にもご使用頂けます。



警告

この表示項目を守らずに誤った取扱をすると重大な事故につながり、使用者が重傷を負う恐れがあります。





注意

この表示項目を守らずに誤った取扱をすると使用者が傷害を負ったり、物的損害をこうむる恐れがあります。

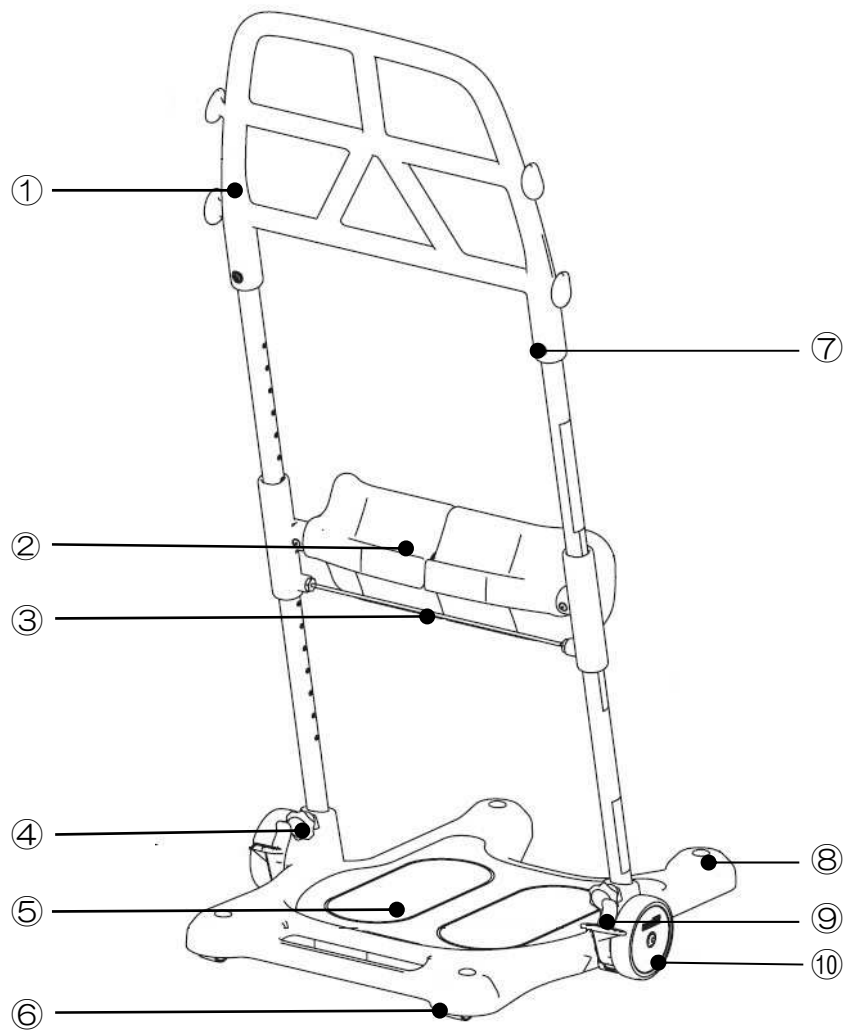


この表示は、調節や使用時のアドバイスを記載しています。

 警告	ライザーベースの導入に際しては、医師や PT(理学療法士)、OT(作業療法士)等の専門家にご相談ください。
	ご使用前には本体及び付属品の点検を行ってください。ハンドルフレームや固定ネジがしっかりと締められていることを確認してください。
	170Kg を越えるユーザーには使用しないでください。
	傾斜のある場所での使用や段差の乗り越え等を行わないでください。転倒しケガをする恐れがあります。
	浴室内では使用しないでください。転倒しケガをする恐れがあります。
	操作は常に介助者が行いユーザーを移乗させている間は、そばを離れないようにしてください。

 注意	人以外の移乗に使用しないでください。故障や事故の原因となります。
	製品を組み立てる際は挟み込み等、ケガをしないよう注意してください。
	ライザーベースはハンドルフレームを握って立ち上がり動作のできる方、なおかつ立位の姿勢が取れる方がお使いいただけます。
	ライザーベース使用時は可動部分に手や指を挟まない様に注意してください。
	ユーザーを移乗させる場合は車いすからベッド等、短い距離での移動にのみ使用してください。
	ライザーベースを使用しない場合は平らで安全な場所に保管してください。

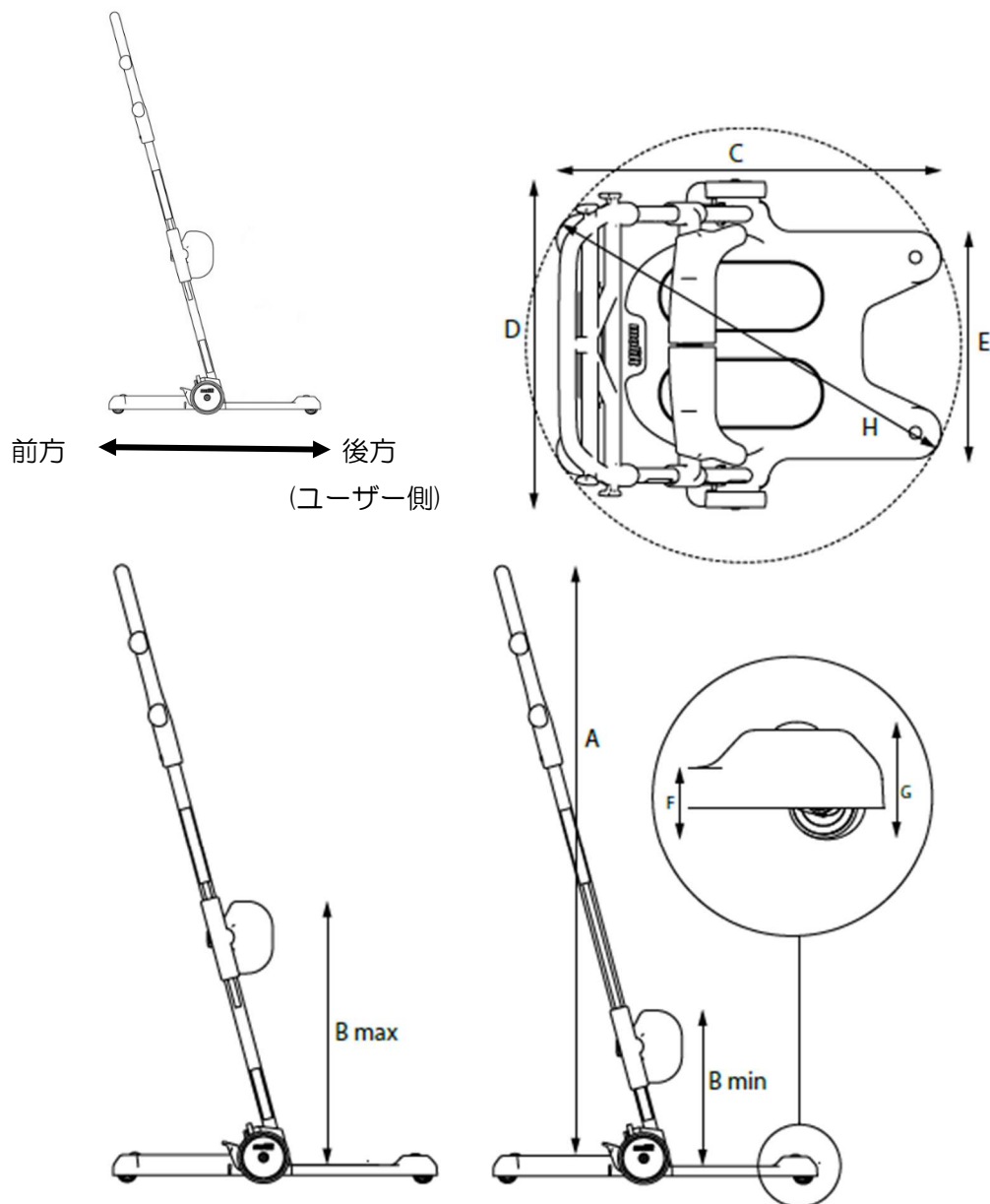
2. 各部名称



- 1. ハンドルフレーム
- 2. レッグサポート
- 3. リリースワイヤー
- 4. ノブネジ
- 5. フットプレート

- 6. キャスタ Φ35
- 7. ハンドル固定ネジ
- 8. ベースプレート
- 9. ブレーキペダル
- 10. キャスタ Φ100

3. 製品仕様



全高(A)	リグサポート 高さ(B)	全長(C)	全幅(D)	フットプレート 高さ(F)	バックレスト 高さ(G)	重量	利用者 最大体重
120cm	30~51cm	63cm	54cm	0.35cm	0.57cm	10Kg~	170kg

材質：スチール、アルミニウム、プラスチック、TPR

*各寸法は、計測方法及び調節により若干の誤差が生じます。

*予告なしに仕様を変更する場合がございますので予めご了承ください。

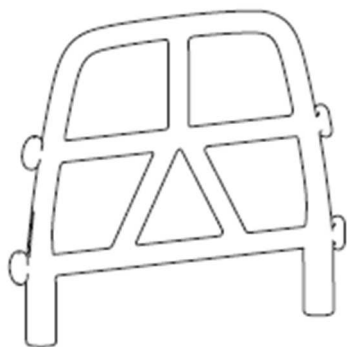
廃棄・リサイクル

廃棄・リサイクルにつきましては各自治体の区分に従い処分してください。

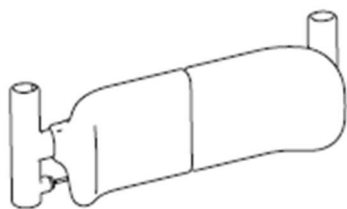
4. 組立方法・調整方法

内容物の確認

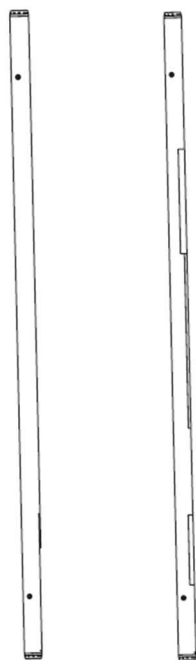
開封時に内容物がすべて揃っていることを確認してください。



ハンドルフレーム × 1



レッグサポート × 1



パイプ（左右）×各1



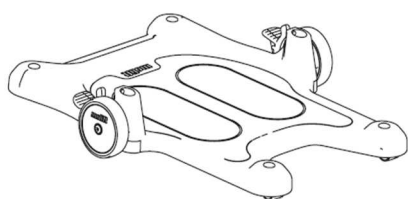
六角レンチ × 1



ノブネジ × 2



ハンドル固定ネジ × 2



ベースプレート × 1



注意

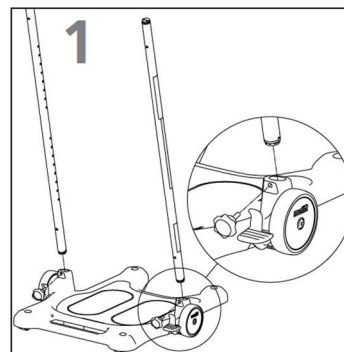
ご使用される際には必ず各パーツがしっかりと固定されていることを確認してください。

組立を行う際は、指や手の挟み込みによるケガ等にご注意ください。

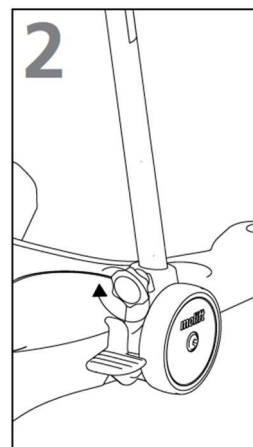
ベースプレートへのパイプの取付

- ①ベースプレートを平らな面に置き、ブレーキをロックします。
パイプの穴がベースプレートの中心に向くようにパイプを
挿入します。

*ラベルの付いたパイプは、前方から見て右側に取付けて
ください。



- ②ノブネジを挿入し、時計回りにしっかりと回しパイプを固定
します。

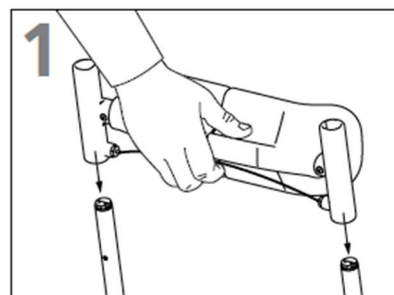


注意

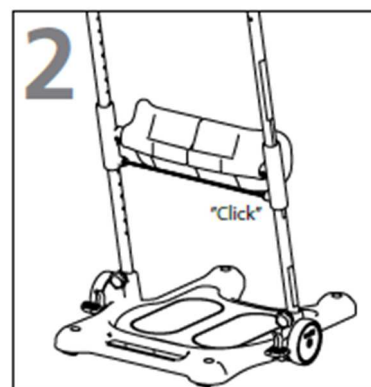
組立後はノブネジが正しく固定されていることを確認してください。

レッグサポートの取付

- ①リリース ワイヤーを引っ張りながらレッグサポートを
パイプに取り付けます。その際クッション側を後方
(ユーザー側)へ向けてください。

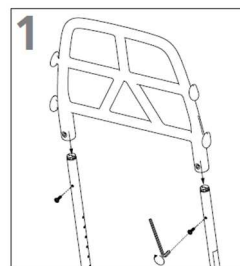


- ②レッグサポートを希望の位置に移動させリリース
ワイヤーを放し、レッグサポートを固定します。

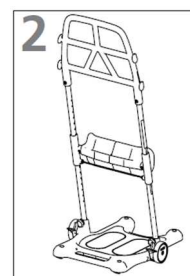



ハンドルフレームの取付

- ①パイプにハンドルフレームを差し込みハンドル固定ネジを挿入し、六角レンチで締め固定します。



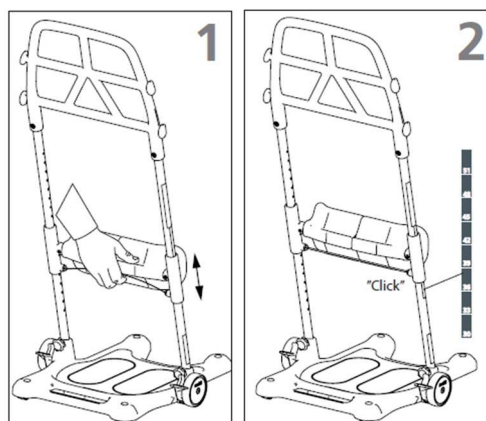
- ②ハンドル固定ネジが前方側から取付けられていることを確認してください。





 注意	レグサポートが正しく取り付けられていることを確認してください。
	パイプとベースプレートを固定するノブネジが、左右正しく取り付けられ、しっかりと固定されていることを確認してください。
	ハンドルフレームが正しく取り付けられていることを確認してください。
	本体を動かしキャスタの動作に不具合がないことを確認してください。
	ブレーキがしっかりと固定されることを確認してください。

レグサポート高さ調整

- ①クッションの裏側のリリースワイヤーを引き、レグサポートを希望の高さまで上下に動かします。
- ②リリースワイヤーを放してレグサポートを固定させます。
- *レグサポートは固定された際に「カチッ」と音がし、リリースワイヤーがまっすぐになります。



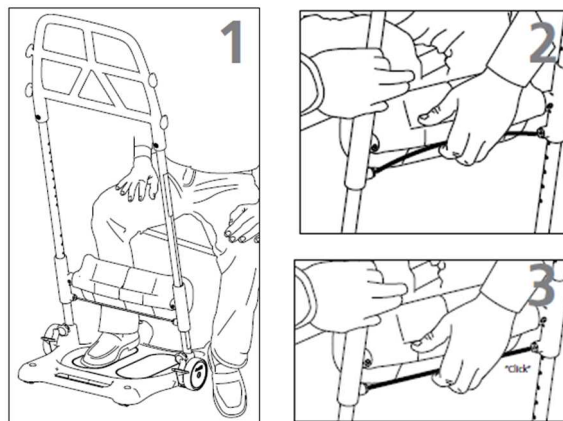
レグサポートの高さは、パイプに表示のある目盛りで確認することができ、レグサポート上側の数字が現在の高さになります。

 警告	レグサポートを取り外した状態で使用しないでください。滑り落ちてケガをする恐れがあります。
 注意	調整後はリリースワイヤーの両端が適切に固定されていることを確認してください。

5. 使用方法（専用ベルトを使用しない場合）

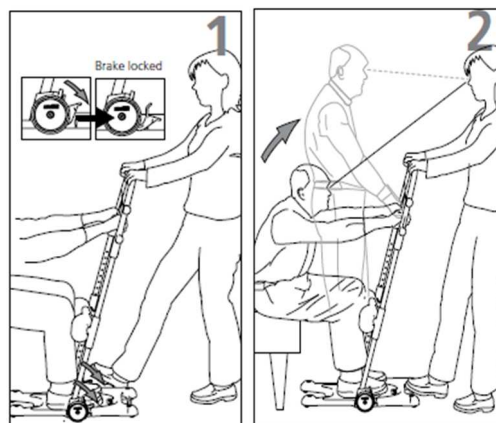
ライザーベースのセッティング

- ①ユーザーの足をフットプレートに乗せてください。
- ②レッグサポートの上部が膝の下にくるようにレッグサポートの高さを調整してください。
- ③レッグサポートがしっかりと固定されていることを確認してください。



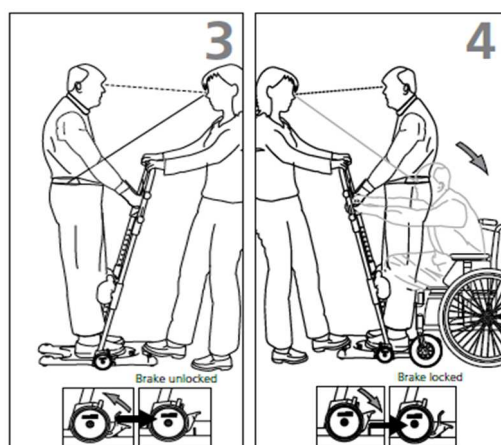
移動・移乗方法


- ①片側のブレーキを押し下げてキャスタをロックし、介助者の片足をベースプレートの端に置きます。
*片側のブレーキを操作することで両側のキャスタがロックされます。
- ②ユーザーに立ち上がるように促しながら介助者は体を後ろに傾けユーザーの体重と釣り合うようバランスをとります。移乗・移動を行う間は常にユーザーとアイコンタクトを取り続けてください。



- ③片足でブレーキを解除しライザーベースを移動させます。
*可能な限りユーザーが進行方向を向いた状態で移動してください。

- ④キャスタをロックします。
ユーザーが座る前にベースプレートの端に介助者の足を置きユーザーが完全に座るまでは体を後ろに傾け、ユーザーの体重と釣り合うようバランスを取ってください



 注意	ユーザーが立ち上がる際や座る際は、常にキャスタをロックしてください。
	介助者はユーザーが立ち上がる際や座る際は、常にユーザーの体重とバランスを取ってください。
	移動の際はユーザーの重心がフットプレートの中心部にあることを確認してください。
	介助者とユーザーとの体格差が大きい場合は使用しないでください。

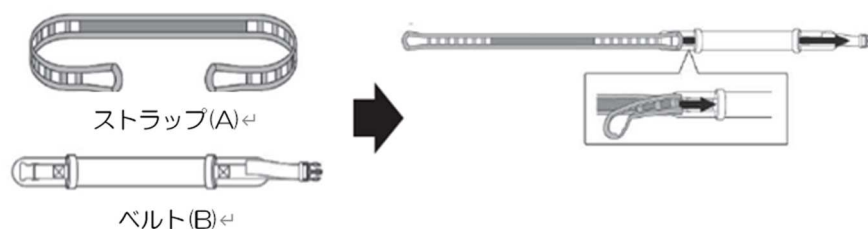
6. 使用方法（専用ベルトを使用する場合）

ライザーベース専用ベルト（オプション）

立ち上がり動作を補助するためのベルトで、立ち上がる力を安定して補助し立位保持中もサポートします。また腰部で支えるため、ズボンの着脱を容易に行うことができます。

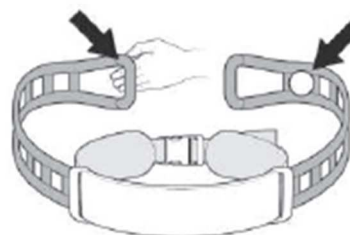
ご使用の前に

ストラップ（A）をベルト（B）に通しておきます。

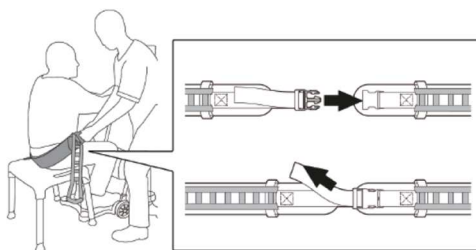


一人介助の場合

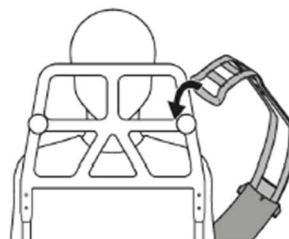
ストラップの片方を本体に固定し
介助者がもう片方のストラップを持ち
立ち上がりをサポートします。



①ベルト本体部分をユーザーの腰に当て
バックルを止めベルトを軽く締めます。



②片側のストラップをハンドルフレーム
のノブに固定します。



③介助者は固定してない反対側のストラップ
の先端を持ち、ユーザーはハンドルフレームを握り、タイミングを合わせて立ち上がります。

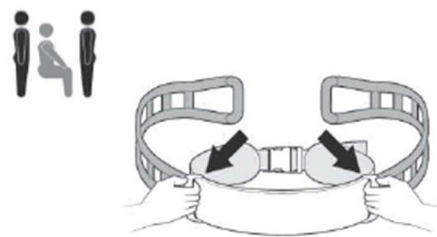


④介助者が持っていた側のストラップを
ハンドルフレームに固定します。

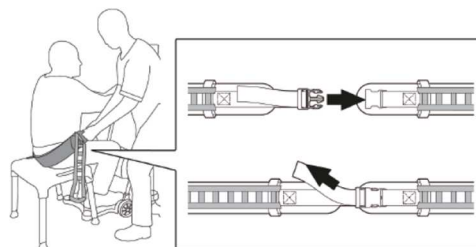


二人介助の場合

介助者二人が本体ベルトのグリップを持って立ち上がりをサポートします。



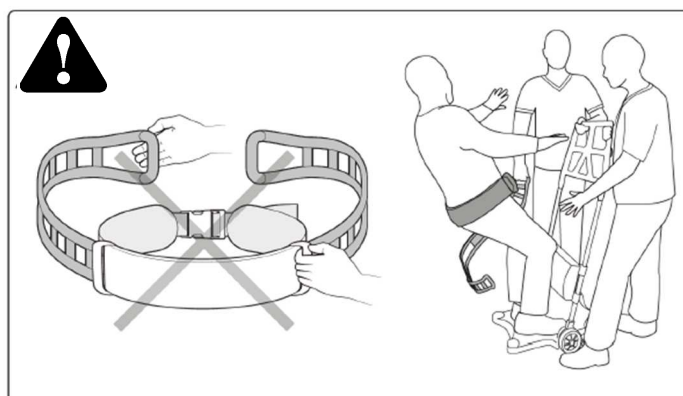
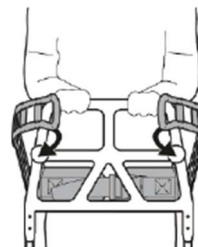
- ①ベルト本体部分をユーザーの腰に当て
バックルを止めベルトを軽く締めます。



- ②介助者はベルト本体のグリップを持ち、
ユーザーはハンドルフレームを握り、
タイミングを合わせて立ち上がります。



- ③ストラップの両側をハンドルフレームに固定します。



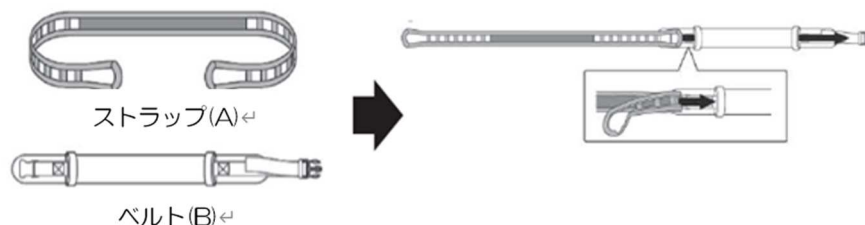
警告

ストラップとベルトのグリップを持って同時に引き上げないでください。
ベルトからストラップが抜け転倒する恐れがございます。

7. オプションパーツ

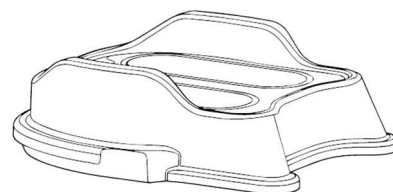
ライザーベース専用ベルト

立ち上がり動作を補助するためのベルトで、立ち上がる力を安定して補助し立位保持中もサポートするライザーベース専用のベルトです。ストラップ（A）をベルト（B）に通してご使用ください。



ライザーベース専用ブロック

ライザーベース専用ブロックはユーザーの足を置く位置をより高くする必要がある場合に使用し、高さを9cm 高くすることができます。ベースプレートにフィットする形状の為、特別な固定器具などは不要です。

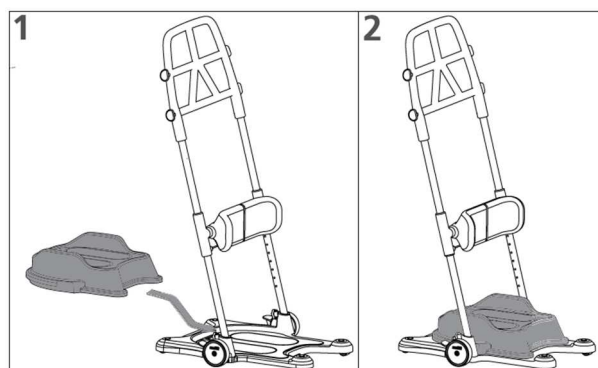


取付方法

ライザーベース専用ブロックの取付けを行う際はキャスタのロックをかけ、ライザーベースにユーザーが乗っていない状態で行ってください。

移乗する際には、ライザーベース専用ブロックが正しく取り付けられていることを確認してください。

- ①ライザーベース専用ブロックを前方からフットプレートの窪みにスライドさせ取付けてください、
- ②ライザーベース専用ブロックが正しく取り付けられていることを確認してください。



警告

使用前に本体に亀裂や損傷がないことを確認してください。

170kg 以上のユーザーには使用しないでください。

素材

ポリプロピレン



8. サービスとメンテナンス

洗浄・消毒

ライザーベースをきれいに保つことは、利用者の快適性や耐久性にとって重要です

本体 : 洗浄・消毒する際は pH5～9もしくは、70%の消毒液を使用し柔らかい布で拭いてください。研磨剤入りのものは表面を傷つける場合がございますので使用しないでください。定期的にキャストから髪の毛などの異物を取り除き、動きに問題が無いか確認しブレーキが効くことを確認してください。

ベルト : 80℃以下の水で手洗いしてください。(低温の方が製品寿命は長くなります)
タンブラー乾燥(60℃以下)可能

ブロック : 70%のアルコールもしくは 45%イソプロパノールを使用してください。

保管

ライザーベースは温度 -25～70℃、湿度 15～93% で保管および輸送できます。

使用しない場合は平らで安全な場所に保管してください。

直射日光を避け高温にならない場所に保管してください。

その他

本体及び付属品に不具合があった場合、使用を中止しご購入の事業者または、弊社までご連絡ください。修理が必要な場合には、純正パーツを使用してください

9. 試験と保証について

CE マーク

この使用説明書 (IFU) に記載されている製品とその関連アクセサリは、2017 年 4 月 5 日の規則 (EU) 2017/745 に準拠しており、EN 12182:2012 および EN/ISO 10535:2006 の選択された部分に従って製造およびテストされています。

保証

品質保証書を確認ください。

特殊な調節

取扱説明書に無い調節、メーカーが許可しないパーツの取付けや改造を行った場合、保証対象外となります。特殊な対応についての保証の有効性を確認したい場合にはお問い合わせください。

LAC

ラックヘルスケア株式会社

〒542-0081

大阪府中央区南船場 2-10-2

TEL : 06-6244-0636 FAX : 06-6244-0836